

2020 年度日本 NPO 学会ウェビナー公募要領

2020. 12. 5.

日本 NPO 学会学術研究委員会

1. 趣旨

2020 年度は世界的な新型コロナウイルスの流行下で、日本 NPO 学会にとっても、通常の学会活動が大きく制限された 1 年となりました。一方で初のリモート開催となった年次大会の成功により、リモート手段を用いた新たな研究交流の方法も明らかとなったように思います。

これをうけて、日本 NPO 学会として学会員内外の研究交流を支援するために、ウェビナー等による研究／実践交流企画の公募を行うものとします。新型コロナウイルスによる NPO 等市民社会への影響、その他年次大会で議論された広汎な研究・実践上の課題を議論し、発信する機会となることを願います。

2. 要領

今回の公募対象となるウェビナー等の要件については、以下の通りとします。

a) 開催時期

- ・ 2020 年度（～2021. 3. 31 迄）中の開催とする。
- ・ ただし選考決定（2021 年 1 月予定）後の時間的余裕を鑑みて、2021 年 2 月～3 月の開催とすることが望ましい。

b) 件数

- ・ 1～2 件（応募件数等を考慮して決定）を予定

c) テーマ

- ・ 新型コロナウイルスと NPO・市民社会・社会的企業等の関わり
- ・ その他（自由テーマ、ただし日本 NPO 学会の範囲と認められないものを除く）

d) 開催方法

- ・ Zoom 等のリモート会議あるいはウェビナー機能を使ったリモート（遠隔）によるシンポジウムを基本とする。
- ・ ただし、開催時の新型コロナウイルス流行状況ならびに開催地の行政当局等による移動・集会制限等の感染予防基準に従った上でパネリスト等、少数の対面開催を可能とする。
- ・ 日本 NPO 学会員をはじめとする市民社会活動関係者、研究者等に広く公開する。

e) 予算額

- ・ 1 件 10 万円を上限として日本 NPO 学会からの支援を行う。ただし対象となるのは会議費（短期ウェビナー・アカウント等取得費用、会場代・感染予防資材費等とし、飲食費を含まない）、旅費交通費、謝金（会員を除く）のみに限るものとする。
- ・ その他必要に応じて日本 NPO 学会として支援（登壇者の紹介・広報等）を行うことがある。

3. 応募方法

a) 応募・選考方法

- ・ 応募者（会員に限る。企画責任者・連絡先を兼ねる）は以下のフォーム上から応募を行う。
- ・ その他の手段による応募は受け付けない。



<https://docs.google.com/forms/d/13YLXaht8MfRB5POMQunbu05kGFMQSBE5gQRq7yynUpM/>

- ・ 応募期間は 2020 年 12 月 7 日（月）より 12 月 25 日（金）とする。採択企画決定は 2021 年 1 月中を予定。
- ・ 応募案件に対して学術研究委員会が選考を行った上で、応募内容に対して学術研究委員会より内容について照会ならびに修正を求める場合がある。
- ・ 応募多数の場合は最終選考として、学会員による投票を実施することがある。

b) 応募内容

- ・ 応募者（氏名、所属、連絡先）
- ・ 企画名
- ・ 企画趣旨・概要
- ・ 開催日時・方法（実施場所やリモート方法）
- ・ 参加者（登壇者氏名・所属、その他参加者数見込）
- ・ 予算額（自己負担分、学会支援分）
- ・ その他学会の支援を必要とする事柄（広報、登壇者紹介等）

c) その他

- ・ 応募した内容に虚偽等がある場合、日本 NPO 学会から支援額全額の返却を求めることがある。

4. 質問

- ・ 本件についてのご質問があれば、日本 NPO 学会学術研究委員会宛にメール（study-janpora@googlegroups.com）でお送りください。ただし選考状況に関する質問は回答しません。また応募期限締切近くの質問は回答できないことがあります。回答の状況によらず締切は変わりませんのでご注意ください。

以上